

2009年3月17日

カナダにおける主の回復の諸召会の親愛なる聖徒たちへ、

リー兄弟が主の回復のために初めてトロントを訪れたのは1963年でした。その時以来、トロントとその周辺の地域、西部のバンクーバー、そして後にカナダ全域に、ウオッチマン・ニー兄弟とウイットネス・リー兄弟の務めを通して諸召会が興されて来ました。時には嵐や騒動が起こってわたしたちは影響を受けましたが、わたしたちはこれらを共に経過して、全地のすべての諸地方召会の間の一つ一つの思いのゆえに、主が命じられた祝福の中へと入っていきます（詩篇133:1-3）。

わたしたちは今、諸召会、特にカナダ東部に、わたしたちすべてが取り組むべき状況に直面しています。ドン・ユー・ランの異なった教えと彼の独立した働きが、諸召会と聖徒たちの間での混乱、損失、分裂を引き起こす要因となっているということは、あまりにも明らかです。ここ数週間、メキシコとスペインの同労者たちは警告の手紙を出しました。それは、ドン兄弟の分裂的な働きがそれぞれの国でからだの証しを損なわれていたからです。彼らの手紙はわたしたちの経験を反映しており、わたしたちは彼らの憂慮と結論に同意します。さらに、わたしたちはドン兄弟の働きが中央アメリカやアフリカと同様、ヨーロッパのほかの地域においても似たような問題を引き起こしてきたことを知っています。

先月わたしたち数名は、デイビッド・ワン兄弟と、ドン兄弟の働きをオンタリオ州ロンドンで広めているほかの人たちとの交わりを求めました。わたしたちは書面と個人的な接触の両方で求めましたが、わたしたちの努力は拒絶され、無視されました。ドン兄弟の務めと働きについてカナダの聖徒たちに公に警告する以外に、わたしたちには選択肢は残されていませんでした。諸召会とカナダにおける働きに責任を負っている兄弟たちとして、わたしたちは自分自身と群れ全体に気をつけ、「神がご自身の血を通して獲得された、神の召会を牧する」ように命ぜられています（使徒20:28）。この命令を神の群れの監督たちに与えた時、パウロは「あなたがた自身の間から、曲がった事柄を語って、弟子たちを引き離し、自分に従わせようとする者たちが起こるでしょう」と警告しています（20:30）。これはパウロの時代に起っただけではなく、今日わたしたちのあいだでも起っています。

ですから、そのような事を行ない分裂を引き起こす人たちについて、わたしたちは聖徒たちと諸召会について警告しなければなりません。ローマ人への手紙第16章17節でパウロは勧めます、「あなたがたが学んできた教えに反して、分裂やつまずきの原因を作る者たちを警戒し、また彼らから離れ去りなさい」。分裂的な人たちを対処することについて、ウイットネス・リーはこのように書いています：

一方で、わたしたちは愛の原則の中で、教理的な概念に従ってではなく、神が受け入れられることに従って、信者たちを受け入れます。これは、ローマ人への手紙第14章のパウロの指示によります。もう一方では、パウロはローマ人への手紙第16章で、分裂をつくる者たちを警戒し、彼らから遠ざからなければならない、と言っています（主の回復における五つの強調点22ページ）

異なる教え

主の回復において、わたしたちは新約聖書の「異なることを教えないようにしなさい」（Iテモテ1:3.6:3）という命令を肯定します。それは、神の新約エコノミーと異なって教えることは、キリストのからだの建造のために主の回復を前進させることを妨げ、損うからです。異なる教えによって引き起こされた問題を対処するために行なわれた一連の緊急の集会の中で、ウイットネス・リーはテモテへの第一の手紙第1章3節について以下のように発言しています：

この「異なる事を教えることがないように」という言葉は非常に簡単に見えます。・・・・・・

・わたしたちは深刻に思わなくても、実際は深刻以上のものです。それは異なる事を教えて人を殺すのです。異なることを教えることは神の建造を破壊し、神のエコノミー全体を無効にします。わたしたちはみな認識しなければなりません、少量でさえ異なることを教えることは回復を損ないます。（長老訓練第3巻、ビジョンを遂行する道、58-59 ページ）

後に同じ交わりにおいて、リー兄弟は異なって教えることの最終的な結果が分裂と関連付けています：

テモテはこれらの教師たちに異なることを教えないように命じられました。……主の回復に真剣であるなら、主を愛しているなら、主を真に追い求めているなら、あなたはこのことに、すなわち異なる事を教えないように、注意を払わなければなりません。それではわたしたちは何を教えるべきでしょうか？ わたしたちは神のエコノミーを教えるべきです。これが唯一の答えです。異なることを教える結果として出て来るものは、分裂のほかありません。（長老訓練第3巻、ビジョンを遂行する道、64-65 ページ）

ドン・ユー・ランの異なった教えは、カナダにおいて語られ、出版されてきましたが、それは独立と分裂を引き起こす要因となってしまっています。ドン兄弟は、十二使徒たちの務めを軽んじてそれを「伝統的務め」と呼び、使徒パウロの務めを過小評価してそれを「法理的務め」と呼んでいます。ドン兄弟が、「法理的」という用語を用いる場合、それはキリストの法理的贖いを意味するものではありません。そうではなく、彼の意味するところは、パウロの務めは死んでおり、律法的であり、教理的であり、思いの中にあるということです。それは、ヨハネの「有機的」務め、すなわち、使徒たちの間で唯一の「霊と命」の有機的な務めであると彼が主張するものと対照をなしています。ドン・ユー・ランは、キリスト教の務めは伝統的であり、ウオッチマン・ニーとウイットネス・リーの務めは法理的であり、ただ彼自身の務めだけが有機的であると主張することで、この誤った概念を推論してしまいました。この教えは神のエコノミーと異なっており、本来分裂的であるだけでなく、ドン兄弟の務めの重要性の認識を膨張させて、人々をドン兄弟と彼の務めに引き付けて、従わせようとするのです（使徒 20:30）。

ドン・ユー・ランはまた、カナダを含め、彼の働きが及ぶところはどこであれ、啓示録第12章の誤った、人をあざむく解釈を広めて来ました。2007年11月のボストンでの特別集会の間、同労者がこの不適切な教えを正し、責任者たちにこれが広まるのを止めるように要請しました。啓示録第12章についてのドン兄弟の逸脱した教えの深刻さと、彼の教えが覆い隠している重要な真理を理解するために、ミニストリーマガジン（英文）の2008年3月号に掲載された『宇宙的な女と男の子のビジョン』（日本語版は日本福音書房刊）の、特に1160-1163 ページ（英語版）を読むようにお勧めします。同労者たちが懇願したにもかかわらず、ドン兄弟と彼の同労者たちはこの誤った教えを広め、それを彼らの働きを積極的に広げるための正当化として使っています。オンタリオ州ロンドンで最近行なわれた福音普及訓練（GPP）での標語は、この教えの特徴を顕著に表しています。

ドン兄弟の教えは、彼の働きによってなされた特別集会での語りかけと同様、「日ごとの食物」の頒布を通して、彼のロンドンでの働きによって広められました。その他の広められているほかの教えは、以下の項目を含みます：

- 北アメリカの諸召会はラオデキヤになった
- ドン・ユー・ランの務めに従う人たちが特別に王国の福音を宣べ伝えることを委託されてきた
- 主の回復の訓練や特別集会に参加することは、「エルサレム」、すなわち墮落した宗教的組織の「本部」に戻ることである。

これらの教えは神のエコノミーの健康な言葉とは異なっており、ドン・ユー・ランの務めと働きが世界中の諸地方召会によって受け入れられている普遍的な務めと異なっていることを表しています。

ドン・ユー・ランのカナダでの働きの発展

1985 年以来、ドン兄弟はオンタリオ州ロンドンで、ある兄弟たちとの特別の関係を深めてきました。ドン兄弟はそこを頻りに訪れて特別集会を行ない、彼の働きの多くは多くの働き人たちをそこに送り込んで特別集会や訓練を導き、彼はそこの兄弟たちを励ましてブラジルを頻りに訪問させました。彼は、そこでの働きの彼自身の働きの延長と見なしています。北アメリカのすべての働き人たちの間で、デイビッド・ワンとそのほか数名のロンドンの兄弟たちだけが、ドン兄弟によって彼の同労者であると認められています。

3 年少し前、デイビッド・ワンはドン兄弟の南アメリカでの訓練を模して、GPP 訓練センターを設立しました。若者たちは、アナハイムでの全時間訓練よりもむしろ GPP に参加するように励まされ、GPP はその地域のほかの諸召会との交わりを完全に無視し、そこから離れた状態で行なわれました。

ドン兄弟のカナダにおける働き人たちは、彼の書籍を英語に翻訳し、流布するために、出版機関を設立しました。ドン兄弟の書籍を広めるため、カナダのホームページも立ち上げられました。そこには、「朝ごとの食物」と似た形式でドン兄弟の教えをあらわしている出版物、「日ごとの食物」も含まれています。「日ごとの食物」は、リー兄弟の務めと置き換わって、ドン兄弟に従う人たちの定期的な食物のなっています。ドン・ユー・ランは、ロンドンでの働きの彼の務めを広めるためのセンターであると高く評価しました。2007 年、カナダ中で、またそれ以外のところにもドン兄弟の務めを広めるために、北アメリカで唯一委託を受けている場所であるとして、ドン兄弟はロンドンを高めました。デイビッド・ワンとほかの人たちは、カナダだけでなく、中央アメリカにおいてもドン・ユー・ランの働きの広めようとしてきています。

分裂と損失

ドン兄弟の働きの、その独立的で分裂的な方法を通してカナダ西部における主の回復に損害を与えました。例えば：

- キッチナーの隣の都市であるケンブリッジでは、ドン・ユー・ランの働き人たちが秘密裏にキッチナーに在る召会の聖徒たちを、もともと集会していたところから引き離し、分離した集会を設立しました。これらの聖徒たちとキッチナーに在る召会との交わりは断ち切られました。
- キッチナーの近くにある別の都市であるゲルフでは、聖徒たちを彼らの集会の中で、ゲルフに在る召会ですでに集会している聖徒、キッチナーに在る召会によって顧みられている聖徒たちとブレンディングしようという努力があったにもかかわらず、働き人たちが分離した集会を設立しました。
- ロンドンに基礎を置く GPP は、その地域のほかの諸召会との交わりなしににドン兄弟の働きをストラトフォード、ストラトロイ、ウッドストック、ハリールード、キンカーディンに広めるための活動を推し進めています。
- ロンドンそれ自体においても、ドン兄弟と彼の同労者デイビッド・ワンによる、権威の乱用を含む、教えと実行における逸脱のゆえに、多くの家庭が主の回復を離れました。

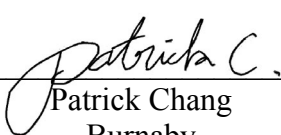
ドン・ユー・ランの働きの独立的な働きであり、カナダの諸召会の交わりから離れて行なわれていることは明白です。わたしたちが交わりを求めたのをデイビッド・ワンが拒絶したことは、その働きの独立的な性質を明らかに示すものです。交わりの欠如はキリストのからだの基本的な原則に反しており、それ自体で分派的です。リー兄弟はこのように書いています、「わたしたちが引きこもって自分自身によって神に仕えようとするときはいつでも、わたしたちは独立的で分派的存在であることを覚えているべきです」（「命を召会を認識する」 英文 106 ページ）。ロンドンから来たドン兄弟の同労者たちは、すでに存在している状況に交わりなしに狡猾に潜り込み、いくつかの事例では意図的に彼らの存在と活動を隠しています。彼らはすでに存在している諸召会から聖徒たちを引き離し、分離された分派的な集会を開始し、すでに存在している諸召会を完全に無視して、彼らの働きの広めるのです。


警告

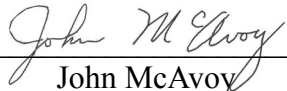
ドン・ユー・ランと、彼の務めと働きに従う働き人たちの教えと活動によって、わたしたちはこれらの人物たちと彼らの働きについて、カナダのすべての諸召会に対して警告することを余儀なくされました。ドン・ユー・ランと彼の追従者たちの働きは、主の回復における一つの働きとは異なっており、聖徒たちを神のエコノミーから運び去ってしまう教えの風を広めます（I テモテ 1:3-4. エペソ 4:14）。ドン兄弟の働き人たちは「あなたがたが学んできた教えに反して、分裂やつまずきの原因を作る」（ローマ 16:17）のです。ですから、使徒パウロの命令を踏まえて、わたしたちは彼らを警戒し、彼らから離れ去らなければなりません。これは実に深刻な事柄です。わたしたちは、すべての聖徒たちがこの警告に祈り深い注意を払うよう求めます。もし誰かがあなたがたのところにきてドン兄弟の働きやその教えを広めたなら、どうかこの警告に耳を傾け、あなたの地方の指導的兄弟たちとの交わりにその事柄を持ち出してください。

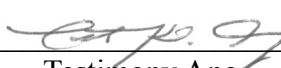
わたしたちは、ドン兄弟が使徒たちの新約の教え（使徒 2:42）と主の回復における働きに戻ってくることを願って彼に対して忍耐してきました。最近の出来事によって、彼らが異なった路線を追い求めていることがわたしたちに明確になりました。ですから、諸召会と聖徒たちに対して、彼らが使徒たちの健康な教え（I テモテ 6:3. テトス 1:9）とキリストのからだにあるすべての真の地方召会の唯一の交わりの中で守られるように（I コリント 1:9）、この警告を出すのです。ドン兄弟と彼の同労者たちが、彼らが危険な状況の中にいることに気がつき、悔い改めて正しい道に戻ってくるようにわたしたちは祈ります（I コリント 9:24-27）。

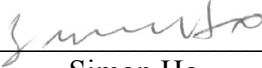
カナダにおける主の回復で奉仕しているあなたがたの兄弟たちより

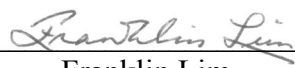

Patrick Chang
Burnaby

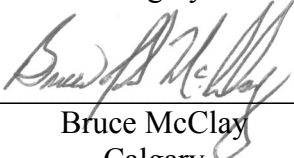

Kieng-Yin Hao
Burnaby



John McAvoy
Burnaby



Testimony Ang
Calgary


Simon Ho
Calgary



Franklin Lim
Calgary



Bruce McClay
Calgary

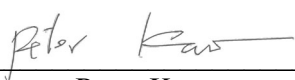

Allen Liu
Edmonton

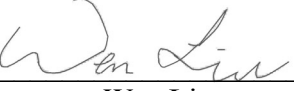

Rod Mattingsley
Edmonton

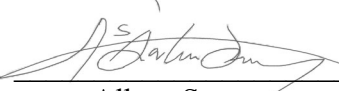

Bill Sakellariou
Edmonton



Dan Moreno
Kitchener



John Chao
Montreal

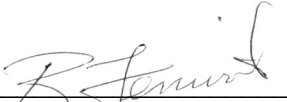

Peter Kao
Richmond


Wen Liu
Richmond


Albert Sayson
Richmond

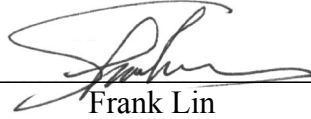

Victor Sayson
Richmond


Wilson Chern
Surrey

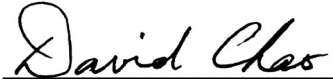

Robin Fenwick
Surrey



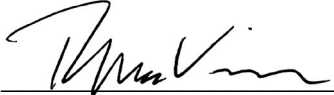
David Heinrichs
Surrey



Frank Lin
Surrey



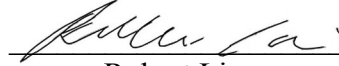
David Chao
Toronto



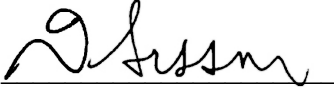
Ron MacVicar
Toronto



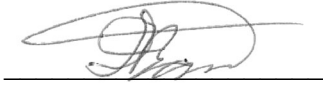
David Wang
Toronto



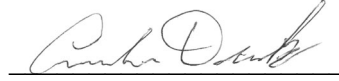
Robert Lim
Vancouver



David Sisson
Vancouver



Isaak Banman
Winnepeg



Andrew Dueck
Winnepeg



Frank Koop
Winnepeg